

From JPMA

## より高い創薬力を発揮できる産業を目指して

私たち研究開発型製薬産業は、革新的医薬品、すなわち創薬イノベーションの成果を患者さんに届けることにより、社会に貢献し続けていくことが使命です。より高い創薬力を発揮し、この使命を果たしていくためには、継続的な研究開発投資を可能とする制度と、革新的な医薬品に見合う価値の評価が反映された仕組みが不可欠であると同時に、経営の根幹にかかわるそれらの制度や仕組みは、予見性と安定性が確保されたものであることが極めて重要です。今後もステークホルダーの方々との対話を重ね、その実現に向けて取り組んでいく所存です。

また、2018年は製薬協創立50周年の節目の年となります。革新的医薬品がもたらす価値をいっそう追求するとともに、ステークホルダーの方々からの理解・信頼向上のために積極的な情報発信を行ってまいります。



(1月16日 製薬協定例会長記者会見より)

日本製薬工業協会  
会長 畑中 好彦

### 日本製薬工業協会(製薬協)

#### Japan Pharmaceutical Manufacturers Association (JPMA)

製薬協は、病院、診療所などの医療機関で使われる医療用医薬品の研究・開発を通じて世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することをめざす、研究開発志向型の製薬会社が加盟する団体で、1968年に設立されました。

製薬協は、「患者参加型の医療の実現」に向けて、医薬品に対する理解を深めていただくための活動、ならびに製薬産業の健全な発展のための政策提言などをおこなっています。

製薬協は、国際製薬団体連合会(IFPMA)の加盟団体として世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応し、各団体と連携を図りながら、グローバルな活動を展開しています。

新薬の開発を通じて社会への貢献をめざす 日本製薬工業協会